

消防の広域化は必要か？ 慎重な検討を



2017年1月22日
NO. 1655
【発行】
日本共産党
市会議員団
ご相談は市役所
議員団控室へ
私部1-1-1
☎892-0121
(内線301)



中上 さち子
倉治 6-17-13
☎893-6785



さらがい ふみ
星田 7-44-21
☎894-2835



藤田 まり
私部西 2-16-13-310
☎397-3027

交野市と枚方寝屋川消防組合は消防の広域化(共同で業務を行う)について研究会を行っています。日本共産党は交野市の消防の課題などについて質問しました。

●広域化が必要か検討中

【質問】交野市と枚方寝屋川消防組合が、消防の広域化(共同で業務を行う)について研究会を行っている。検討の経緯と今後のスケジュールは。

【答弁】国の基本方針で、市町村の消防が広域化する場合の期限が平成30年までに延長された。これをうけて改めて枚方寝屋川消防組合と交野市の広域化が必要かどうか研究会を行っている。今年度中に報告書をまとめ、さらなる検討が必要か市として判断していく。

●緊急時の応援協定は？

【質問】交野市だけでは対応できない救急や火災時に、枚方寝屋川消防組合に応援を要請する協定を昨年結んだが、その内容は。

交野市の救急・火災件数 (件)

		平成27年度	平成26年度	平成25年度
救急出動件数		3,223	2,945	2,908
内訳 (主なもの)	急病	2,083	1,913	1,842
	一般負傷	565	467	480
	交通事故	330	335	367

火災件数	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	25	39	22

【答弁】救急車は交野市で救急事案が4件以上重複した場合、はしご車は5階建て以上の建物で3階以上の階で火災

が発生した場合に応援出動していただいている。

【質問】大規模災害時などの応援体制は？

【答弁】広範囲山林火災や市内での列車事故などの大規模災害時には、大阪府下広域消防相互応援協定、北部生駒山林野火災消防相互応援協定などがある。南海トラフ地震等の大規模災害時には、緊急消防援助隊などにより相互に補完する。

●交野市の消防の課題

【質問】現在の応援協定でも緊急時の対応は可能と思われるが、交野市の消防の課題はどのようなものか。

【答弁】他市に比べて消防力が脆弱で、火災が重複すれば即時対応が難しいことや、指揮隊(災害現場の状況把握や出動隊の統制を行う)が出せないなど、通常の災害対応の充実強化が課題である。

●広域化の方法と問題点

【質問】仮に消防を広域化する場合の方法と特徴は？

【答弁】共同で業務を行う「組合方式」は、規模の大きい消防本部に合わせるため、消費の大幅な増額が見込まれる。事務を委ねる「事務委託方式」では、交野市は執行管理の権限を失うことになる。

【意見】事務委託方式による広域化で交野市が権限を失うのは問題である。本来、消防力の強化充実、交野市自身が計画的に進めるべきであり、広域化のメリット・デメリットについて、慎重に検討する必要がある。



パブリックコメントが実施されます

(内容は次号以降でお知らせします)

- ①第二次交野市耐震改修促進計画 (案) 1月10日(火)～2月10日(金)
- ②交野市開発指導要綱 (改正案) 1月10日(火)～2月10日(金)
- ③交野市国民保護計画 (改正案) 1月23日(月)～2月22日(水)
- ④野市公共施設等総合管理計画 (素案) 1月20日(金)～2月20日(月)
- ⑤交野市生涯学習基本計画 (案) 1月20日(金)～2月20日(月)

提出方法などは、「広報かたの1月号」をご覧ください。